

## 第36回横浜マリンボールカップ女子Aゾーン決勝 8月2日

柿生フィリーズ(川崎) 41 VS 33 戸塚ミニバスケットボールクラブ(横浜西部)

### 1Q

序盤、戸塚は#11の2連続ゴール下のシュートを入れると、柿生#7の3連続得点に結びつく気迫あふれたプレーで、逆転。更に、激しいディフェンスを重ねる両チーム、戸塚#5のドライブからのペイントエリア内で#7への合わせとオールコートマンツーマンで、パスカットをし、逆転。9-12 戸塚3点リードで終了。

### 2Q

開始早々柿生#4のドライブインが決まる。戸塚は、#4から#6センターへの合わせで得点、柿生はオールコートマンツーマンに対し、柿生#4対策にも見えるカバーを意識したディフェンスでロースコアのクォーターとなった。残り2分30秒で、戸塚が5点差引き離れたが、残り1分30秒時柿生の猛追が始まった、#6、#4のシュートで1点差とした柿生、残り20秒で、柿生#4の逆転シュート。19-18

### 3Q

後半になりベストメンバーとなった。開始早々柿生#4の2連続得点引き離しにかかるが、戸塚は、コートを広く使いペイントエリアでの高さ勝負を狙うが、なかなか攻めきれず、その中、戸塚#7の力強いリバウンドシュートで、得点を重ねる。

しかし、柿生#4のミドル・ロングシュートの勢いがとまらず、10点差で終了。32-22

### 4Q

ディフェンスは両チームともオールコートマンツーマンで戸塚は柿生に追いつくためボールマンプレッシャーをかける中、戸塚#6のゴールしたリバウンドシュートで8点差、なかなか点数がつかまらない、3分30秒戸塚タイムアウト！ディフェンスを変えてきた戸塚、柿生#4に対してフェイスデフェンス、ボールマンに対して2人着け、激しいプレッシャーをかけに勝負に出た。戸塚#4のドライブからのバックシュートで6点差、戸塚の激しいボールプレッシャーが続く中、柿生は、早いパス回し、ペイントエリアにいた#5ノーマークとなりミドルシュートで得点し終了、柿生が優勝した。41-33

協力/横浜市南部ミニバスケットボール連盟技術委員会

